

組織分科会

議長：阿部 秀晴 (中野)
// 色摩ひな子 (練馬)
書記：渡辺 直樹 (練馬)

参加者は代議員40人、代議員以外の参加者22人、来賓3人の合計65人でした。

冒頭、中村組織部長があいさつし、来賓からあいさつを受けました。中村組織部長、熊切担当専従常任、沼口事業所対策専従常任待遇が分担して議案提案を行ない、各支部の経験と教訓を具体的に示しながら2017年度の経過を報告し、「課題克服を共有しその対策を実践すること」「専門部を横断し、産業課題でも組織化を」「月間目標に団結し、1%実増を」「事業所対策の実践」を重点とした2018年度の方針が提案されました。

議案の補強として、日原大田支部組織部長より「支部版分会経験交流集会で見えてきたこと」、加賀府中国立支部組織部長より「2017年の



色摩議長

優れた組織運動の目的と到達が示され、今後の参考となる報告でした。なお質疑・討論の要旨は次のとおりです。調布支部「群会

目標に団結し1%実増 事業所の活性化に議論集中

取り組み、青沼板橋支部組織部長より「事業所の仲間と共に組織強化を」、古谷小金井国分寺支部組織部長より「未加入事業所の安全大会参加と事業所結集の支部経験報告」、土屋葛飾支部組織部長より「分会再編による組織強化と10年ぶりの組織実増」、佐藤豊島支部主任書記より「『群オ

ルグ』の取り組み」、以上6支部の経験報告がありました。いずれも優れた組織運動の目的と到達が示され、今後の参考となる報告でした。

副委員長のまとめの後、組織分科会議案は原案とおりの拍手で承認されました。



支部経験報告をする府中国立の仲間

問・意見がありました。窪田副委員長のまとめの後、組織分科会議案は原案とおりの拍手で承認されました。

その後、執行部から昨年の経過・方針を提案され4支部から取り組みの報告がありま

労働対策分科会

議長：佐藤 忍 (目黒)
// 柴崎 憲一 (西東京)
書記：宮内 竜平 (西東京)

判決の前進面を確認 安全大会、石綿シンポ報告も



柴崎議長

野支部から、「泉南アスベスト最高裁判決を生かした訴訟について」、墨田支部より「平日昼間開催の支部安全大会」、渋谷支部より「アスベ

ストンボジウムについて」報告をしました。建設政策研究所の市村専務理事からは、一人親方調査の中間報告をしていただきました。

最後に議案を仮承認し、議事が終了しました。



労働対策分科会で高裁判決の報告をする中野弁護士 (前列左から3人目)

専門部の役割重要に CCUSは組合のリードで



佐藤議長

参加者は代議員25人、代議員以外の参加者18人、来賓5人の合計48人でした。

初めに来賓の古島熊建労働書記次長、益田神奈川県連委員長、井澤東京地評労働政策局長より激励の挨拶をいただき、特別講演として、中野首都圏建設アスベスト訴訟弁護団より東京高裁判決の報告をいただきました。

三鷹武蔵野支部からは「三鷹低安協発足について」、中

技術対策分科会の参加は、代議員26人、特別代議員20人、本部役員3人、来賓4人の合計53人でした。

議長・書記の選出後、渡辺部長より「今こそ技術対策部の役割が重要な時」、窪田副委員長(理事長)より「6千人を超える多くの受講者となったことへのお礼と、しっかりとした裏付けを持って仕事を



技術対策分科会で質問する荒川の仲間

技術対策分科会

議長：佐藤眞理子 (調布)
// 佐藤 里志 (渋谷)
書記：山崎 貴博 (渋谷)

足場特別教育で支部講師団養成と支部開催講習が大きく増えたこと、青年技能競技大会・技能五輪大会で金賞・銀賞の受賞、東京都主催イベント(匠の技・モクコレ)への参加などの経過報告、高卒者の建設業への就職者が減少、3年以内の離職率が5割弱になっているが、技能検定合格

者の定着率が高く、賃上げ効果があり(公共工事設計労務調査)、技能と賃金を連動して議論するため、仲間の資格の把握、指導者育成、建築大工技能士会の結成検討、技能検定受験者をふやすこと、学習活動でキャリアアップカード普及をすすめること、キャリア無料職業紹介所の活用で学校訪問と事業所対策を進めることなどが提案され、6支部から、「建設職人の賃金単価・社会的地位の向上のため、キャリアアップシステムを組合のリードで」「支部講師養成と書記講習」「支部開催講習の最低人数」「学校教育協力運動強化」などについて、質問・要望が出されました。

その後、「カレッジ生確保の取り組み・清瀬久留米」「分会開催の資格講習・西多摩」「中学生の職場体験受入・練馬」「若手の活躍できる技術対策部・板橋」の支部活動報告があり、近藤書記次長が分科会